



●子どもも大人も減塩を心掛けましょう!

平成28年度「健やか親子21国民運動-8020の里賞(ロッテ賞)-」

10月4日、岡山コンベンションセンター(岡山市)で行われた平成28年度「健やか親子21全国大会」において、東海村食生活改善推進員連絡協議会が、「健やか親子21国民運動-8020の里賞(ロッテ賞)-」の佳作賞を受賞し、2月28日、村長を表敬訪問しました。この賞は、未来を担う子どもたちを健やかに育てるために、乳幼児からの口腔ケアの重要性や健康づくりのための食育について、地域で自主的な活動を活発に実施している団体に贈られるもの。同会員の皆さんは、「東海村子どもも大人も減塩プロジェクト」と題し、減塩の大切さを食育教室の開催や、独自で作成したパネル・冊子を使い地域住民等に伝える



【写真左から】石丸美代子さん、佐藤佳代子さん、山田村長、大貫美枝子さん、富永壽子さん

活動などを行っています。「村民の皆さんから、“食事に気を配るようになりました”など、自分たちの活動が皆さんの行動に結びついていることにやりがいを感じます」と話していました。

●村の食育活動に尽力!大貫さんに表彰状

平成28年度「県民健康づくり表彰」

2月14日、茨城県庁(水戸市)で行われた平成28年度「県民健康づくり表彰式」において、大貫美枝子さん(須和間)が茨城県食生活改善推進員協議会長賞を受賞し、2月28日、村長を表敬訪問しました。大貫さんは、食生活改善推進員として13年以上にわたり、村の食育活動に貢献してきたこと、これまでに取り組んできたさまざまな事業が地域住民だけでなく、村の食生活改善推進員連絡協議会の活動の活性化につながっていることが評価され、今回の受賞に至りました。また、大貫さんは昨年度まで同会の会長を務めており、若手から高齢の会員まで全体を配慮しながら会をリードしてきました。「これからも、食育活動に従事していきたい」と話す大貫さん。ますますのご活躍を期待しています!



【写真左から】大貫さん、山田村長

●デザインの力で、東海村の魅力をPR!

文化デザイナー学院「修了制作発表会」

2月22日、東海村産業・情報プラザ^{アイヴィル}「iVi」で、文化デザイナー学院(水戸市)の学生による修了制作発表会が開催されました。発表された作品は全て本村の村松地区が舞台となっており、デザインを考えるに当たって学生たちは、村内を散策したり、村のイベントに参加したりと、自分たちの目で村の良さを見つけることから始めたそうです。当日は、東海村風土体験型テーマパークプロジェクトと題し、村の風土を生かした建築デザインや、魅力発信プロジェクトとして、村の良さを発信する動画の紹介など、学生らしい斬新な発想による村の魅力づくりの提案が多数発表されました。“村をデザインの力で



変えていく——”この新たな視点が、新しい村の魅力づくりにつながっていくかもしれませんね。

●学校教育・生涯学習の充実と地域社会の連携を目指して

平成28年度「東海村教育振興大会」

2月17日、東海文化センターで、平成28年度「東海村教育振興大会」が開催されました。小中学生を含む教育功労者11団体73人の表彰をはじめ、茨城県科学研究作品展出展者の北佳さん(東海南中学校2年)による研究発表や、中丸小学校リコーダー部が、同校の児童が創った詩の朗読を織り交ぜながら、4種類のリコーダーを使い合奏やアンサンブルを披露しました。講演では、二松亭ちゃん平さん(社会人落語家)を講師に迎え、学校生活に関する落語を披露していただきました。来場者たちは、その巧みな話術に「実際に、話の内容の情景が浮かんできました。落語って面白い!」と話していました。“言葉の使い方や伝える方法の大切さ”を知るきっかけとなったようです。

